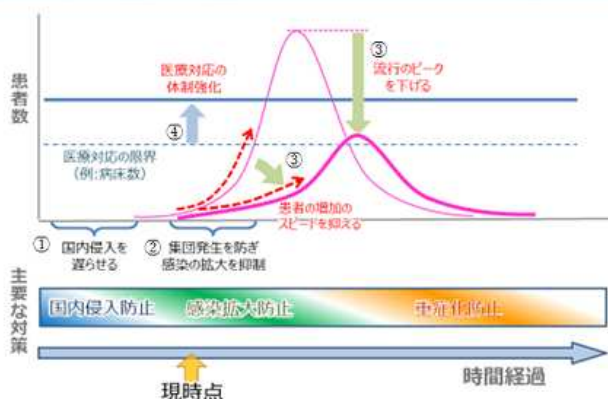


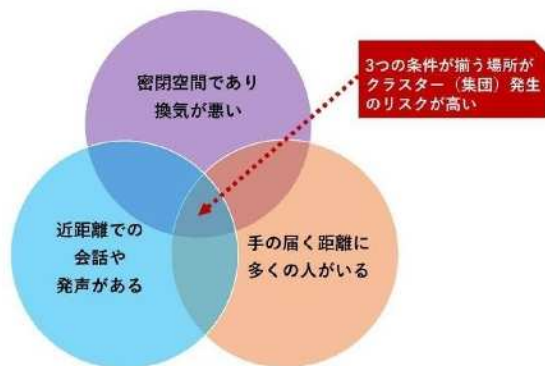
新型コロナウイルス感染症のピーク時の患者数

新型コロナウイルス対策の目的（基本的な考え方）



3月時点で新型コロナウイルス感染症ピーク時の三次市の患者数は最悪の想定で、1日の新規外来患者180人、入院患者110人、重症者3人とされていました。5月頃にピークに達すると考えられていましたので、現状と比べるとかなり感染者数を抑えられています。ただし、終息するために集団免疫を得る必要があるとするなら、全国民の60～70%が罹患しなくてはなりません。そうするとピークを抑えている代わりに感染期間は長くなってしまいます。まだまだ長期に渡って新型コロナウイルスと、付き合っていく必要があります。

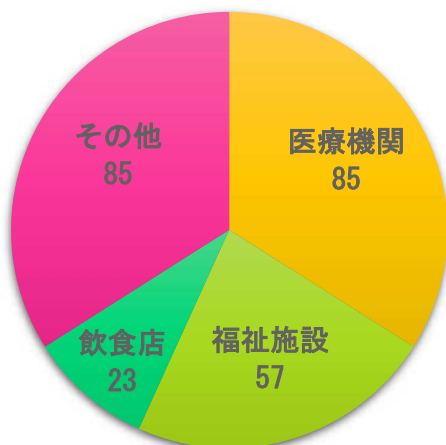
新型コロナウイルス対策



個人でできること

- ① 3密（密接・密集・密閉）を避ける（0密を目指す）
 - ・密接：距離を保ち、大きな声で喋らない
 - ・密集：人混みを避ける
 - ・密閉：換気をしましょう
- ② 咳エチケット・マスクの着用
- ③ 手指消毒
- ④ 十分な睡眠と健康管理

クラスター発生場所



クラスター発生場所

5月10日までに新型コロナウイルスのクラスターは250件確認され、主な発生場所としては医療機関85件、福祉施設57件、飲食店23件でした。最大のクラスター発生場所は医療機関であり全体の1/3を占めています。院内感染を抑えることはクラスター対策として非常に重要であります。

当院では院内感染を防止するための新たな装備を導入しましたので紹介したいと思います。

発熱外来



健診センター入口の横にコンテナを設置して発熱外来として使用します。冷暖房も完備していて、ストレッチャーでの入室も可能です。午前の健診センターの業務が終了して、午後からの稼働となります。

屋根があるため、天候の悪い日でもドライブスルー検査に対応できます。

陰圧ブース

ネーザルハイフローやNPPVのようにエアロゾルを発生させる呼吸管理が必要な患者さんへの使用や、外来で発熱患者さんの待合室・診察スペースとしても使用できます。



エアロゾルボックス



挿管の時や吸痰・口腔ケアの時の飛沫予防に使用します。ボックスを患者さんの頭にかぶせて、ビニールに手を入れる穴をあけて処置をします。



4月に三次市を襲った新型コロナウイルス感染症の第1波は皆さまの協力もあり収束に向かいましたが、今後は第2波の発生が予測されています。今回の第1波で我々は新型コロナウイルス対策の経験を積むことができ、病院としても診療・看護のシステムが整ってきています。ひき続き油断することなく新型コロナウイルスに立ち向かっていきましょう。